



＝ いまの憲法が私たちの暮らしを護る ＝

2020年2月 170号

野田・九条の会 事務局

☎ 04-7122-0502



野田・九条の会

検索

正念場となる憲法論議

今年さらさら身近なテーマでアピールします。

野田・九条の会は1月11日から2時間はあつという間に過今年最初の例会を開き、年間の活動を決めました。安倍首相が憲法改定に意欲を示す中、自衛隊の中東への派遣は現実のものとなりました。

今年私たちの運動は正念場を迎えたと言えます。例年11月に九条の会主催の講演会を規模を大きくして行ってきましたが、参加者の固定化などの反省から見直しを行い代わりとして学習会を細かくいろいろなテーマで企画することにしました。

- 学習会を3ヶ月に1回開催します
- 「おしゃべりカフェ」を2ヶ所に
- スタディツアーを3月ごろ実施
- 駅頭のアピール効果を工夫します

例会では「九条を変えないで自衛隊のような戦力なしで本当にいいのか」という市民の問いにどう答えるか、また「生活に身近なテーマで憲法を話していったらどうか」など意見がたくさん出ました。月1回北コミで行っている「ちよつと硬派なおしゃべりカフェ」には毎回15人ほどの参加者があり、違った意見でも否定しないがモットー。様々な意見が飛び交いコーヒーを飲みながら

今月の予定です
皆さん 気軽に参加ください

2月2日(日) 13:30～16:40
DMD 視聴と意見交換 朴と共に死ねるなら私は満足しよう「金子文子と朴烈」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

2月8日(土) 13:30～17:00
野田・九条の会 2月例会 「九条が持つ意義を考える」
中央公民館 講座室 野田・九条の会

2月9日(日) 16:00～17:00
9の日 行動 九条通信配布・ボードでアピール
梅郷駅 通路 野田・九条の会

● 憲法九条に賛同される方
9の日一緒にアピールしましょう。

2月19日(水) 16:00～17:00
9の日 行動 九条通信配布・ボードでアピール 雨天中止
愛宕駅 野田・九条の会

2月20日(木) 13:30～15:30
ちよつと硬派なおしゃべりカフェ 政治や憲法のこと気軽に
おしゃべりしませんか。
北コミ 談話室 野田・九条の会

2月29日(土) 16:00～17:00
9の日 行動 九条通信配布・ボードでアピール 雨天中止
川間駅 北口 野田・九条の会

3月1日(日) 13:30～16:40
DMD 視聴と意見交換 ① 菜の花の沖縄日記 ② 葬られた危機～イラク日報の原点～
南部梅郷公民館 南地域九条の会

"憲法九条"に賛同される方

平和憲法と一緒にアピールしませんか！

私たちの暮らしは日本国憲法によりしっかりと護られています。しかし、現政権になってから防衛費は激増し、福祉予算は削減されました。今月は自衛隊の若者が危険な中東の紛争地へ派遣されます。無事を祈るばかりではいられません。

みなさんいまこの国はおかしくなっていると感じられているのではないですか。

この思いを駅前でアピールしてみませんか。毎月9の付く日に川間、愛宕、梅郷の各駅で呼びかけています。プラカードを持つ、この「九条通信」を配る、また、たたずみスタンディングのみの方などそれぞれの方法でアピールしています。

アピールのスケジュールは左欄で確認ください。用意いただくものはありません。お気軽に参加ください。1時間ほどですが、短時間でも一緒に。



成人の日10名でお祝いと平和憲法をアピールしました。

野田市文化会館前の交差点で

アメリカが新たな悲劇を生む 自衛隊中東派遣は日本に危機をまねく



アメリカは他国であるイラクの国内で、イランの革命防衛隊司令官ソレイマニ氏を殺害しました。イランは報復として米軍基地を攻撃し、中東地域は非常に危険な状態になってしまいました。戦争開始の直前状態に至らせ、危険をはらんだままの緊張状態が続いています。日本はそのような危険のなか、自衛隊を中東へ派遣しました。日本の石油を守るためという理由からです。国会で議論されていますが、私たちはこの問題をどう捉えたらいいのでしょうか。調査が主たる任務であるから問題はないと政府は言いますが、果たしてそうでしょうか。武力衝突、あるいは戦争状態になる危険がある場所に自衛隊という軍隊が軍艦と哨戒機を持って乗り込んで行って調査だと言って済むことでしょうか。ましてや日本は米国の同盟国です。状況がちょっと変化すれば危機的な状態に巻き込まれる事は当然のことになります。海賊などの犯罪行為を取り締まる警備行動ではないのです。国と国との戦争状態の中に入るということです。

法律の裏付けも十分ではなく、国民の議論と同意がなく派遣される今回の調査という目的の裏には、他に本当の目的があるのではないのでしょうか。それは米国の要請による有志連合への

参加です。とすれば国民の意思を無視した戦争協力の道につながってしまいます。これは憲法で認められません。今回の危機は、トランプ政権のイラン核合意からの離脱が直接の原因であり、経済制裁を行い、敵対状態を作り出し攻撃した結果生じたものです。

戦争を回避させるには米国の行動に歩調を合わせるのではなく、米国を元の核合意のところまで引き戻す努力が必要です。いまの状態が続けば必ず大きな危機が生じます。今回も世界中の人々が悲しむ事態が起こってしまいました。イランが誤って撃墜してしまったウクライナ機乗客の多数の死です。

このような危機の中では誤って、あるいは偶発的に多くの命が失われるということなのです。

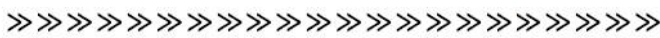
安倍首相は国会の代表質問に答え、「わが国が米国の指揮統制を受けることない」「わが国が武力紛争に巻き込まれるような形で行うものではない」と言い切りました。しかし自衛隊員はまさに戦場となろうとするその場に臨んでいるのです。



護衛艦 たかなみ



P-3C 哨戒機



行動する者が歴史をつくる



新年を迎え早一か月、日常生活に戻りいま私の心を大きく捉えているのは異常気象と核問題だ。これは世界全体の問題だから。アメリカ・ブラジルの火災後、半年前から続くオーストラリアの森林火災、喪失面積は日本国土の半分以上、はき出されるCO2の量は156か国が出す1年分とか。今のままでは人間の力ではコントロールできない所まできている。

核問題では核保有国の間でいざこざが起きており、国内の原発も福島であれだけの被災にあいながら再稼働されようとしている。

いずれも資本家の金儲けの犠牲になっているとも言える。しかし嘆いていたり、こぼしているだけでは何も変わらない。何故、どうすれば

と深く考える人が一人でも多くなり、その人々が力を合わせて行動することでしか社会は変わらない。

歴史は行動する者によってつくられる。



「憲法改悪許さず」今年こそ正念場。精一杯やろうじゃないですか！ 皆さん！ 松本 昌子



オーストラリア森林火災

運転差し止めとなった伊方原発